

マンチェスター・シティ・ウィメンズ・フットボールクラブ所属
長谷川唯選手、藤野あおば選手、山下杏也加選手への歓迎の挨拶(8月27日)

在パース日本国総領事の内藤と申します。長谷川唯選手、藤野あおば選手、山下杏也加選手、パースへのご訪問を歓迎申し上げます。このたびは、マンチェスター・シティWFGの多大なご協力を頂き、大変お忙しいスケジュールのなか、日本人コミュニティのメンバーとお会い頂く機会をいただいたことにつきまして、心より御礼を申し上げます。

当地の応援団長であるMIMIの清水さんは、インターナショナル・フットボール・カップのパース開催が決まったその日から、世界的ビッグクラブであるマンチェスター・シティに日本を代表する選手達多数が所属し、そのチームがパースでプレーをするという奇跡が起きることをいち早く察知し、体育会系の当地日本人会長、副会長とともに、当地でお迎えする機会をいろいろと思い描き、この日が来ることを心待ちにしておりました。パースは人も気候も温かく、世界でも有数の美しい暮らしやすい街であり、日本に対する尊敬や愛着も深い土地柄ですので、滞在を楽しんで頂ければと思います。

早速土曜日には、パース補修授業校にて日本人学校生徒と家族を含む200名を越える日本人コミュニティのメンバーとふれあう機会にご参加いただきましてありがとうございました。私自信は残念ながら出張中でしたが、参加した元教員の家内からの報告で、世界を代表する皆様に、笑顔で子供達ひとりひとり接して頂き、夢を与えて頂いたと聞いております。嬉しそうな子供たちの表情を写真で拝見し、パースで経験した一生の出会いとなり、後に振り返って勇気につながるような貴重な思い出になったものと確信しております。

皆様は、パリオリンピックが終わって休む間もなく、オーストラリアでのプレシーズンマッチに参加され、1ヶ月後には英国のスーパーリーグの新シーズンが開幕するという忙しさに身を置いておられます。山下選手と藤野選手はともに移籍したばかりで、環境の変化への対応というご苦労もあろうかと思えます。同じく今回ツアー参加できなかった清水梨紗選手は、同じ英国のウェストハムから移籍したばかりで、しかもパリオリンピックでの怪我からの回復に奮闘されております。清水選手の早期の回復を心よりお祈りしております。そんな中で、マンチェスター・シティではキャリア的に先輩の長谷川選手に引っ張って頂くことで、日本人選手がチームで活躍されることを願っております。

そしてチェルシーを破り、まずはリーグ制覇を達成されることを願っております。そして次の女子ワールドカップの2027年ブラジル大会、続く翌2028年のロサンゼルス・オリンピックにて、みなさんが揃ってなでしこジャパンでご活躍する姿を見られたら最高です。

そのような想いを込めて、当地での明日の試合、9月1日の試合には日本人コミュニティのメンバーとともに精一杯応援をさせていただきます。

本日は短い時間ではありますが、日本人会の代表の方々との懇談を楽しんで頂ければ幸いです。長谷川選手、藤野選手、山下選手、そして清水選手の一層のご活躍を心から祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

以上